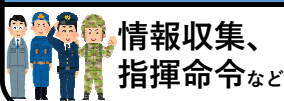


第3回 市庁舎の今後のあり方を 考える市民会議 －災害時に必要な拠点－

■ 災害時に必要な拠点

災害対策本部



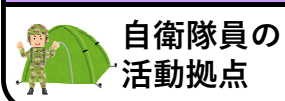
支援物資



配給場所



復興活動拠点



支援窓口



荷捌き場所



ボランティア



廃棄物処理



復興事務所



避難場所



活動本部



宿泊室など

避難所

仮眠、休憩

自治体の地震対応の基本的な流れ

図1 新潟中越地震の自治体の事例

拠点機能	発災	応急期		復旧期	
	発災直後	数時間後	数日後	数週間後	数カ月後
避難場所	一時避難				
災害対策本部	設置				
避難所	避難所設置				閉鎖
自衛隊等応援		要請	派遣		
自治体応援		要請	派遣		
救援物資ボランティア		救援物資到着			
総合相談窓口		受付窓口開設			閉鎖
応急危険度判定			窓口開設		
応急仮設住宅			調査開始		
震災廃棄物			設置	受入開始	
			処理開始		

2

災害拠点① 避難場所

東日本大震災発生直後、多くの人々が安全な広い場所を求めて、**避難場所**などに一時的に集まる。



図2 地震発生直後、市庁舎前広場に避難する人々
(平成23年3月11日15時頃)



出典:八戸市役所

3

■ 災害拠点② 災害対策本部（関係機関との連携）

消防庁や自衛隊など国や県の関係機関、他市町村との窓口になり、派遣を要請したりなど**連携の拠点**となる。



図3

情報収集や関係機関との連絡、市民からの問合せなどの対応に追われた。また、自衛隊などの関係機関からの連絡員も派遣された。



出典:八戸市役所

■ 災害拠点② 災害対策本部（情報の収集）

市内の被害や避難者などの状況把握を行うとともに、市民やマスコミなどからの問合せを受ける**情報収集の拠点**となる。



図4

発災直後の避難所の状況を記したホワイトボード。電話がつながりにくく、情報が錯さうするなど避難所の状況把握は困難を極めた。



出典:八戸市役所

■ 災害拠点② 災害対策本部（指揮命令）

収集した情報をもとに、自衛隊や消防・警察などの指揮者と対策会議を行い指示を出す**指揮命令の拠点**となる。



📷 図5

災害対策本部員会議の様子。市内の被害状況が報告され、本部長である市長から被災者支援、被害状況把握などに関する指示がされた。



出典:八戸市役所

6

■ 災害拠点③ 避難所

避難所の被害状況を確認後、避難所を開設する。**情報の取得や食糧・物資の管理を行い、**衛生部局と協力し健康維持に配慮する。



📷 図6

地震発生から2回目の夜を迎えた三条小学校体育館の様子。（平成23年3月13日4時頃）



出典:八戸市役所

7

■ 拠点機能③ 避難所（指定場所でない）

東日本大震災発生直後、市庁舎は避難所とはなっていなかったが、多くの避難者が集まった。



📷 図7

指定避難所ではないが、震災当日の夜は市庁舎にも避難者が集まり不安な夜を過ごした（平成23年3月12日4時頃）



出典:八戸市役所

■ 災害拠点④ 支援物資集積場所

集積場所に届いた各地からの支援物資を管理・保管する。避難所の状況などを見ながら適切な配給を行う。



📷 図8

震災直後に市庁舎に届いた救援物資。



出典:八戸市役所

■ 拠点機能④ 支援物資集積場所（捌き場所）

大量に届く支援物資を適正に保管・分配するために、ボランティアによる仕分け作業を行う。



📷 図9

一つの箱に複数の品が入ってしまうと保管や分配に困るため、ボランティアによる中身の確認や仕分けなどの作業を依頼した。



出典:長岡市民防災センター

■ 拠点機能④ 支援物資集積場所（積込・積降場所）

集積場所から避難所へ届けるための積込スペースが必要。災害時は積込作業の横で各地から続々と支援物資が届く。



📷 図10

ボランティアによる支援物資の積込みの様子。



出典:熊本支援チーム

■ 災害拠点⑤ 炊出し等調理場所

原則として施設内では実施せず、**衛生および防火に十分注意**して調理場所を検討する。



📷 図11
陸上自衛隊による炊き出しの様子。
(平成23年3月12日撮影)



出典:陸上自衛隊八戸駐屯地

12

■ 災害拠点⑥ 配給場所

避難所を利用する人全員（避難所以外の場所に滞在する人も含む）に**確実に伝わるよう配慮し、公平に配給を行う。**



📷 図12
地震などの災害で断水が起きた場合に、応急給水を行う災害時応急給水拠点



出典:川崎市水道局

13

■ 拠点機能⑦ ボランティアセンター（受入窓口）

震災直後から、全国各地より続々とボランティアが集まる。ボランティア登録を行い、名札や腕章を配布する。



📷 図13

社会福祉協議会等が設置することが多いのですが、運営にはボランティアスタッフが欠かせません。



出典:大野町社会福祉協議会

■ 拠点機能⑦ ボランティアセンター（本部）

避難所等から運営状況を聞きとり、ボランティアに依頼したい内容や人数を決定し、適切な配置に心がける。



📷 図14

社会福祉協議会等が設置することが多いのですが、運営にはボランティアスタッフが欠かせません。



出典:塩釜市災害VC

■ 拠点機能⑧ 自衛隊・応援団体の活動拠点

応援に来る自衛隊員は、公園や運動場など張った**宿営用テント**に寝泊まりして、**復興作業**にあたる。



📷 図15

自衛隊による道路の瓦礫の撤去作業の様子。

(写真提供：陸上自衛隊八戸駐屯地)

復興活動拠点

自衛隊員の活動拠点

出典:八戸市役所

16

■ 災害拠点⑨ 公的支援のための窓口

り災証明の発行や仮設住宅の申込みなどの**公的支援の窓口**、**通常の窓口業務**の場所が必要となる。



📷 図16

開設された総合相談窓口。被災者からの相談や、り災証明書の発行申請などをワンストップで受け付けた。

支援窓口

り災証明、仮設住宅など

出典:八戸市役所

17

■ 拠点機能⑩ 職員の活動拠点（業務スペース）

り災証明発行のための応急危険度判定や仮設住宅の建築、道路や水道などのインフラ復旧の工事など復興に向けた業務を行う。



📷 図17
熊本地震における市役所職員の業務の様子



出典:水戸市役所

18

■ 拠点機能⑩ 職員の活動拠点

職員は発災後数週間は自宅へ帰ることができないため、寝泊りをするスペースが必要となる。



📷 図17
職員が市役所の会議室に寝泊まりする様子



出典:水戸市役所

19

■ 拠点機能⑪ がれきの保管場所

町のいたる所に積上げられている壊れた家具やがれきを、分別して収集し、一時保管場所に搬入する。



📷 図18

東部終末処理場に搬入された災害ごみ。
(平成23年5月撮影)

廃棄物処理



一次保管、
処分場

出典:八戸市役所